南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行　NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
新聞 PDF 置場　http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html

私たちの歌　Going

諦めることを諦めた。私は自分の意思を持って進みたい。

2012 年 02 月 27 日(月) 23 時 12 分 00 秒

http://ameblo.jp/kanasanndoo/entry-11177481092.html

こんにちは、キャナです。

私たち、MJC アンサンブルは正直、ここまで南相馬で活発に活動できるとは思っていませんでした。

ですが、今は、日本全国に元気を届けて、南相馬が復興していくという希望を胸に歌を歌っています。

これからも、いえ、もっともっと南相馬の底力と希望と元気をお届けできたらと思います。

私は絶対に志望校を合格して、MJC の活動をまた始めたいと思います。

負けるもんか！

(編集者補足:Youtube・被災地から生まれた希望の歌
http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=GqKrwx2sNXU)

##

南相馬市から2月27日月朝　サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を経営しています。 新鮮な話題をお届け！　2012-02-27 05:23:16

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/b2cba8829aab3bcc8c089a5c2e0b3742

『カーネーションから』

いつも、見ている NHK の朝ドラ、カーネーション、その中で昭和40年頃から始まった、日本の高度成長時代、その時代の変化を称して

(見たことのない時代)がやってくる、と言っていました。そうですよね、戦後の復興から新しいこれまで日本人が体験したことのない時代がやってくる予感、それを(見たことのない時代)とても良い表現だと思いました。

原発の災害で福島県、浜通り、南相馬市、がこれまで考えたことのない、想像されたことのもないような、放射能汚染の被害を受けて、その被害からの復興、再生、まさに(見たことのない状況)町の将来がどうなるのか、だれも想像できないもどかしさの中に、今多くの人が置かれています。まさに、これから今までとは違った、経験したことがなかった形の復興が必要になります、そして、誰も(見たことのない時代)元の町以上の復興、再生できた町が戻ることを祈らずにはいられません。

南相馬市から2月29日水朝　2012-02-29 05:31:50

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/b0500f79b11e7c48e4a822e33311cd22

『月末です』

もう2か月がたちました、もうすぐ震災から1年が経とうとしています、この町に住んでいて、いろんなストレスを感じながら、多くの人が暮らしていることと思いますが、そのストレスのせいかはわかりませんが、商店会の仲間が入院していました。

先日、役員会で遭って話をして今後、原発の賠償について研修会をしていこうと話ていました。昨日、ある店に行ったらこの話を聞きびっくり、心臓の不具合(狭心症)血管が詰まって苦しくなったようです。月曜日のカテーテル手術で心臓の血管のステンド？を入れるようです。血管を広げることですよね。

大したことはなさそうですが、知らないままに、ストレスを感じて体がおかしくなっているようですね、他人ごとではありません、同年代ですから、気をつけなくてはいけません。

やはり、定期的に検診を受けなければならない年代にきているようです。

昨日、薬をもらい為に病院に行きました、血糖は85、ヘモグロビンは6，4と前よりも改善していました。少しづつ改善しているようです。ただ、相当甘いものを食べることを控えていますから、それはそれで少しストレスなのですが、入院するよりはましだと自分に言い聞かせています。

どんなことでも、やっただけ、行動しただけ、努力しただけ、結果が出るようです、当たり前のことですが、辛くても頑張って上り坂をのぼりましょう。

南相馬市から3月3日土朝　2012-03-03 05:34:49

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/4566d29cb780eb3d92264b9bb0d4266a

『コメント』

いろいろとコメントをいただきます、が放射能被害で6割の人たちに影響がでるそうですが、本当なら困ったもんです。ドイツ放射能防護協会の発表だそうです。だからと言ってどうすることもできません。今また原発が爆発するのならまだしも、不確定な話だけでは、もはや避難する勇気は出てきません。黒い砂、これも今はなんだかわかりませんから、どうしようもありません。

出来れば、もう少し具体的な詳しい根拠が欲しいですね、噂やガセネタなどはいろいろ飛び交っているようですが、いろいろな話がありすぎて、何が真実、信用、していいのかがわからなくなってしまいますよね。本当に信じなくてはならない時に決断しにくくなってしまいそうです。

結局、自分の目の前にあるもの、見えるものを信じるしかないから、原発がどうにかならないうちは、動きません。

今日の朝は本当に(雪国)になっています。お弁当の注文が入っているので、お惣菜チームはいつもより早めの出勤です。この冬最後の雪で終わってくれればよいのですが、後は小学校、中学校の卒業式あたりが、毎年降っているので心配です。

##

人間に定年なし　・・・　原発震災避難者

負けてらんにぇ！みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2012-03-03 15:00:51

http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/575f4a6116c8a86f59d1de5d79e5499f

震災前のわが家の庭で

老人クラブの会長が自殺した　という話を聞き　・・・　がく然としました。

人々は　世間との断絶が老人を死に追いやった　・・・　評しています。

私は　そうは思いません。

若者と老人の考え方の違い

社会の仕組みの変化による行動形態の違い

・・・　そんなものは　断絶であろうはずがありません。

ヒマ人の考えた「　方程式　」です。

「　妄想です　」です。

ヒネって痛いこの体は　昔も今も変わりはしません。

老いも若きも　みな痛いのです。

ところが　この肝心要をみな忘れ　方程式だけで考えようとします。

「　もうトシなのだから　静かに暮らしてください　」と言って

若者側は　いたわるふりをして　無関心を示します。

それにこたえるかのように老人側は

「　やっぱり　わしは用のない人間だ。

なにもやれんのなら　生きていても仕方がない」と考えます。

要するに　生身の体でぶつかっていない　・・・　のです。

会社に定年はあっても　人間に定年はありません。

「五十六十　花なら蕾(つぼみ)。　七十八十　働き盛り。

九十になって迎えがきたら　百まで待てと追い返せ」

・・・　どちらも遠慮はいりません。

老人だって　仕事はできます。

どんどん頼んで　・・・　頼み倒せ　ですよ。

##

今日のできごと　3 月 1 日(木)

南相馬市生活復興ボランティアセンターのブログ
2012-03-01 17:33:58
http://ameblo.jp/minamisoma-svc/entry-11179845092.html

今日から3月。おひなまつりが近いので、南相馬市社会福祉協議会では、市内の75歳以上の高齢者世帯を対象に、ひなあられや甘酒をセットにした詰め合わせをお届けしました。

もちろん仮設住宅にお住まいの方も、生活支援相談員がお届けにあがりました。

まだ、届かない方は、順番に回りますので待っていてくださいね～。

さて、今日のサロンでは、月曜日に教えていただいた「小型犬」をまた教えていただきました。

今回の参加者には、男性もいましたが、一生懸命に作ってもらいました。

ここをこうやって・・・

できたーーーーーーーー。
最後に、みんなで喜びの舞いを・・・

楽しそうですね～。

今日のボランティアさんは、
　鹿島区受付　13人　　でした。
みなさん、本当にありがとうございました。

##

震災後の日本を訪ねる

ゆっ太郎 (2012.03.01 11:00)
相双ゆたどさ ゆったりがどっさり。～ふくしま相双～
http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/4776.html
2 月も下旬にさしかかった、ある日相馬・南相馬へ、20 ヶ国から38名と東京大学の生徒などを合わせて計48名の方々を乗せた大型バスが 2 台。
震災と津波による被害が、もうすぐ 1 年になろうとしている今もなお残る沿岸部を視察
国の政策で推進してきた原子力発電所がもたらした災害について
また、相馬の伝統文化にも触れ、地域の在り方を通して
現地で起こっている現状を見て、行政の施政と実効性を問う
シンガポール国立大学 リークアンユー公共政策学院
「LKYSPP」の皆さんです。
南相馬市原町区で開催されたスクーリングでは相馬一千有余年の旧藩主、市行政、民間団体からの講演

相馬の若殿、相馬 行胤(みちたね)公は”これまで幾多の困難を乗り越えてきた「相馬」を歴史が証明している
行政は、3 年・4 年の担当が異動する任期でしか物事を考えることができない。
相馬は一千年。少なくとも自分の代の 50 年スパンで、これからの相馬を考えている。
大飢饉でも、尊徳の御仕法と助け合ってきた「地域のコミュニティ」 想いを共有し、行いを共有すること。”

南相馬市の副市長は行政組織について”日本の行政は、国・都道府県・市町村の三層構造が大きな特徴。
都道府県レベルの行政に携わったことはないが 明治以降、国からのトップダウンに頼ってきたことが この災害で、大きな瑕疵となっていることが明瞭となり 情報の伝達なり、対策なりが大きく遅れた。
一方で、市町村側は「国からの伝達があるだろう」と 待つことに慣れてしまっていた。
これは日本の行政の大きな反省点であり、限界点でもあると思う。
三層の行政モデルに頼るのではなく、他地域行政との連携が重要になってくる。
地域コミュニティを最重視して、地域課題・災害課題を解決して行きたい。
また、原子力発電所の問題など、国でなくては解決できない問題が山積しているのも事実。
国家の威信、国のリーダーシップが今こそ必要だと思う。”

・未曽有の災害に対して日本はどのように対応しているのか。
・国が強力に推し進めた「クリーンで安全な夢のエネルギー」への幻想と　そもそも運営能力を持たなかった一企業。
参加された皆さんは、それぞれのお国に戻られれば
国の中枢で活躍する上位の官僚の方々です。
日本の対応を、お国の政策にどう活かすことができるか
また、日本のために何をすることができるのか。
参加された皆さんからの熱心な質疑が繰り返されました。

日本の中央各省庁も参画して実現したこの「LKYSPP Japan Trip 2012」は東京大学の提携校でもあります。
政府関係者、国・都道府県・市町村などの行政機関、民間企業、市民団体など
とりまとめ、調整したのは学生と被災地支援を行っている支援者のみなさんです。

貶めたり差別的行為を煽動したりするような言動ではなく
否定的な情報を流して思う方向へ誘導することなく
”復興”を実現する施策と何より、それを「実行する」ことについて日本国外から来ていただいた方々が「災害の被害を蒙った地域のために」「日本のために」真剣に取組んでくださっていました。
参加 20 ヶ国 38 名(総勢 48 名)の皆さんはこの後、陸前高田市の震災被害と復興の現状の視察へ向かいました。

「被災に遭った地域のために何ができますか？」
ひとりの方が質問を投げかけました。

「今日見たことを、話しあったことを
国へ戻って皆さんに伝えてください。
そして、できることなら日本を直に見てください。」

「全国の地域活性化情報ウェブマガジン」”いっとこ”
ittoco.com（URL: http://www.ittoco.com/）